



□□ \_\_\_\_\_ □□  
1. ニュース…在京運営作業チーム会議を開催  
重要案件を検討

□□ \_\_\_\_\_ □□

12月16日（土）、在京の役員を中心に、運営を決めていく  
作業会議が開かれました。

出席者は清水顧問、山崎副代表理事、筑井事務局長、渡邊監事、  
山崎良幸理事、内藤理事、事務局下田さん、日相印刷荒井さん他3人、  
書記：宮川さん、川井の計13人。

場所は、三鷹の文伸で行いました。

話し合われた内容は以下の5案件です。

#### 1-1 日本自費出版文化賞の応募数拡大案について

全国の小出版社に文化賞の応募チラシを送る案でしたが、  
実は事務局では、以前より地方・小出版社の名簿をもとに、  
順次送付していることが分かりました。  
そこで、さらに拡げて送付することを確認いたしました。

#### 1-2 日本自費出版文化賞の1次2次審査委員拡充について

文化賞の1次2次審査については、ネットワーク会員の協力で  
行っていますが、選考委員の高齢化や、審査の質の向上のために、  
審査委員の拡充が課題になっていました。

そこで、文化賞の各部門賞・特別賞の受賞者に1次できたら  
2次審査まで評価してくれる方を募ろうという案が出されました。  
ただ、高齢受賞者や物故者もいるので、調べてから  
お願い文を出すことになりました。

#### 1-3 新HPの表紙デザイン構成案の確認

新HPは、報告しましたように神奈川の日相印刷さんに委託すること  
になりましたが、イメージ画面が出来ましたので、その確認を行いました。

国内唯一の自費出版文化守り育てる団体にふさわしい品格とともに、  
分かり易く、すっきりとしたデザインにして欲しいという要望に  
応えたデザインとなりました。（添付デザイン案参照）

#### 1-4 総会（5/18広島大会）までのスケジュール確認

総会までのスケジュール案が決まりました。  
理事改選もあり、それに伴うお願いもあると思いますが、  
ご協力よろしく願います。

- ① 2月中に来年度（2018/5～2019/4）の事業計画素案をつくる（川井）
- ② 3月中に来期活動計画案・予算案の提案、  
今期報告・決算案を理事に送付（川井、山崎良）
- ③ 4月14日（土）理事会開催予定
- ④ 4月25日（水）までに暫定予算を含めた総会資料と

- 参加・委任の返信はがきを送付（事務局）  
⑤ 5月2日（水）会計監査（渡邊、佐藤、筑井、川井、下田）  
⑥ 5月18日（金）総会（広島大会）

1-5 2019年全国大会に長野松本が立候補について

来年2019年の全国大会に長野松本の電算印刷さんが  
手を挙げてくれました。  
理事会で承認を得て正式発表をいたします。  
長野県は印刷関連業の盛んなところで、特に松本はその中核の一つであります。

以上が、在京運営作業チームで話し合われた内容です。  
メンバーの皆さん、どうもありがとうございました。

事務局さんに地道にコマーシャル活動をしていただいていたのですね。  
引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

そして、文化賞の審査員として過去の受賞者をお願いするのは、とてもいい案だと思います。  
今まで以上に多くの視点から選ばれ、質の高い文化賞が期待できます。

日相印刷さん制作の新ホームページ、  
分かりやすい、使いやすいホームページになりそうで楽しみです。

広島での総会も近づいてまいりました。皆さまのご協力をよろしく願います。  
そして、来年は松本！  
広島も松本も美しい街並み。  
もみじ饅頭に続いて、オヤキが楽しめます。  
(すみません、食に走ってしまいました…)

- \_\_\_\_\_ □□  
2. トピックス…ジャグラが「エジソンを超えて」発行 □□  
— 謄写印刷の軌跡をわかりやすく紹介 —  
□□ \_\_\_\_\_ □□

「謄写印刷」について、知らない世代が増えてきたことに危機感をもったジャグラが  
謄写印刷（通称ガリ版）とその軌跡をわかりやすく紹介する冊子を作製しました。

制作・編集を担当されたサンライズ出版株式会社の岩根副理事に  
以下寄稿いただきました。

堀井新治郎が謄写版を開発して123年目、新たなジャグラの挑戦が始まる  
きっかけになればこの上もなく嬉しい。  
制作に関しては、謄写印刷を介してお付き合いいただいた方々に格段のご協力を賜り、  
また新たな出会いがあり、お手伝いできたことは望外の喜びでもある。  
これまで紡いできた謄写印刷の文化的な歴史がジャグラの軌跡であり、  
一層、新しい感性で新鮮な文化が生まれることを期待したい。（岩根）

謄写版の足跡をグラフィカルに紹介した冊子です。  
謄写版から軽印刷そして現在の印刷への変遷が視覚的に飛び込んできますよ。

\*\*\*\*\*  
★あとがき

新年最初のメルマガは、先月行われた在京メンバー会議での重要案件の内容が主でしたが、着実に日本自費出版ネットワークが広がっているようで嬉しいですね。

また、岩根さまから寄稿いただいた「エジソンを超えて」を通して私は自分の好きな四字熟語「不易流行」を感じました。

時代と共に変わらなければならないこと、変わってはいけないこと…

本作りもデジタル化される部分が多い中、「次世代に残す、伝える」という目的は変わらず、謄写版の「美しさ、芸術性の高さ」は忘れてはならない美意識があると思いました。

こうした皆さまからの寄稿をお待ちしています。  
メルマガがグッと華やかになります。  
「こんな本を作ったよ」とか「こんなイベントに参加したよ」などちょっとしたヒントになることなど、どんなことでもけっこうです。

今年は、もっと多くの皆さまと共に、メルマガも充実できればと思っています。  
どうぞ、ご協力のほどよろしく願いいたします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。  
今年も良き1年にしましょう!!!

---

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら  
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。